

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年1月31日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671500082
法 人 名	有限会社 さくら商事
事 業 所 名	グループホーム 吉田さくらの里（東ホーム）
所 在 地	鹿児島県鹿児島市東佐多町2060番地 (電 話) 099-295-2422
自己評価作成日	平成28年11月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

両棟を囲んだ広い中庭があり、天気の良い日は両棟の交流を図りながらお茶、食事、外気浴、散歩、レクリエーションなどを楽しんで和気あいあいと穏やかな時間を過ごしております。庭の隅に畑を作り、草むしりや水まきなど手入れをしながら野菜作り、収穫、調理、食事までと共同生活を楽しんで頂けるよう支援しております。小中学校、地域の行事、清掃活動への参加、ボランティア実習生の受け入れ、講師による音楽療法も行っております。

ホームの理念として「この家で、共にくつろぎ、共にやすらぎ、地域とふれあいのある暮らし」を目指し、地域の方々の協力をいただき、地域の中で安心してその人らしく暮らすことができるよう支援しております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	N P O 法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域との関わりを重視し、ホーム独自の理念を作り上げている。理念は職員会議などにおいて確認し、内容の意識づけを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々との交流を積極的に図っており、ホーム内の様々な行事等に招くなど、いつでも協力し合える関係作りに取り組んでいる。小中学校の行事にはご利用者同伴で参加したりふれ合いの機会が多い。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	小中学校の福祉体験の受け入れなど認知症の理解や接し方などを伝えたり、他の施設と共同で認知症の講和を行うなど、認知症の理解向上に力を入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に運営推進会議を行い、ホーム内での取り組みや状況等を説明している。又、様々な意見を協議し、サービスの向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の福祉課の方にご利用者の相談、アドバイスをもらったり、商工会の親睦会、地域ケア交流会、グループホーム協会での意見交換を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会を定期的に行い、日々のケアの際、疑問に感じた事については職員間で話し合い解決に至らない場合は役所に問い合わせるなどし身体拘束とは何かを学んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	合同会議において事例を用いるなど、いつもの対応が虐待にあたらないかなど、スタッフ同士が意見を交え考える機会を作っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会に積極的に参加し、その都度、学んだ内容を合同会議にて報告し、知識の向上に繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、契約後も尋ねられたら説明をし、納得して頂くよう努めている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者の思いや意見は日常の会話の見守り、ご利用者家族のアンケートや来訪時の対話、行事、家族会などで把握に努め意見を運営に反映している。			
11 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の合同会議で職員一人ひとりが意見を述べる環境を作っている。職員の業務に限らず全てにおいて意見や提案を聞き取り働きやすい環境作りや業務改善に繋げている。			
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員とのコミュニケーションを通じ各自の悩みや意向をくみ取る環境作りに努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に年2回以上の参加を促し、他事業所交流も積極的に参加するなど職員が学び考え働く環境作りに努めている。			
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会、ひっちこ会、地域ケア交流会など他事業所との情報交換を行い、ホームの環境改善、ケアの改善、ケアの質の向上へと繋げている。又、実習生の受け入れでのケアの気づきによる質の向上へと繋げている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前にご本人、ご家族と面談し情報収集を行いアセスメントをし、ご本人が安心して過ごして頂けるよう努める。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の想いや、意向を伺いながらホームで出来ること、出来ないことなど話し合い、ご本人のより良いサービスへと繋げている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ご本人の意向はもちろんのこと、主治医の意見も踏まえ、ご本人にとってどれが一番良いサービスであるかを判断し、他事業所との調整等も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	季節の行事（みそ・餅つき）などの時、ご利用者からアドバイスをもらいながら一緒に行っている。また、経験してきたことを会話の中で引き出し円満な人間関係に繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に毎月のお便りや写真、新聞で状況報告をしている。面会時、ご本人、ご家族がゆっくりして頂けるように配慮したり、ご家族からの情報や希望をお聴きしご利用者の支援をしている。			
20 8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご友人と気軽に来訪できる環境づくりに努め、日常の何気ない会話から汲み取り計画を立て、次の支援に努めている。			
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩、生け花、オセロなどスタッフで声かけを行い、ご利用者同士が近づけるような環境づくりをしている。			
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も足を運びご利用者、ご家族から状況をお聴きしている。又、介護の不安や悩みなどの相談も受けている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	ご利用者から希望や想い、日常の何気ない会話から把握に努めており、新たな気づきも職員間で共有している。想いが伝えられない方は表情、仕草などから把握に努めている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	ご利用者との普段の会話の中での情報やご家族の面会時に話を伺うなど把握に努める。又ご利用者が住んでいた家に足を運び生活環境の把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	申し送りにて情報共有に努め、出勤時には介護記録に目を通して、声かけにて想いを聴き、状況を把握している。		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	スタッフ会議や日頃から意見交換を行っており、その情報をご家族と共有、相談しプラン作成に取り組んでいる。又、必要に応じて見直し修正を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	サービスの早見表を作成しており、ご利用者の課題が何であるかをすぐにスタッフは確認できるようにしている。			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者の残存力、又は能力の低下において、必要とされるサービスを話し合い、参照を行うようにしている。			
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議時、ホームの状況を報告し、改善点を話し合い、得た情報を活用できるよう取り組んでいる。			
30 11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族が希望される主治医を基本に緊急時の対応を行なっている。又、職員は受診の支援を行ないご家族に主治医、看護師、スタッフから情報交換を行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	介護職員と看護師は気軽に相談している。必要があれば提携医療機関との連携も密に取れている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療でできるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時のご利用者への支援方法を医療機関に情報提供している。又、ご家族とも連絡をとり、速やかに退院できるようにしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化した場合、ご家族、主治医、看護師を交え、終末に対する対応の話し合いを行っている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています</p>	消防の方を招き、スタッフ全員が心肺蘇生の講習などを受講している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の総合訓練には地域の方々にも参加して頂き、消防の指示を仰いでいる。又、2ヶ月に1度は自主訓練を行うなど知識の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	1人1人の個性、性格をそのままの形で尊重し、個人それぞれに応じた声かけを行っている。		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	ご本人の意思を一番に尊重するように心がけている。自己決定の難しい方においては、ご家族からの情報などを参考に支援を行っている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	可能な限り一人ひとりの要望に応えられるよう心がけ、本人らしい毎日の提供に努めている。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	意思決定が難しい方においては、今までの生活歴や清潔をモットーに、その人らしい身だしなみを支援している。		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	一緒に食事作りを行ったり、何が食べたいか、一緒に献立作りを行うなど、一連の流れを共同に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分量などはチェック表を用いて把握し、個々に合った食事形態をその都度提供している。			
42	○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立されている方においては見守りを、困難な方においてはその方に合った方法で支援を行い清潔の維持に努めている。			
43 16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、ご利用者に合わせて声かけをし、誘導を行っている。			
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトや牛乳などの乳製品を用いるなど、なるべく薬に頼らず自然排便を促している。又、散歩や体操、運動にも重点を置き支援を行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴以外に希望があればいつでも対応している。入浴を嫌がる方には声かけなどの工夫をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のペースを尊重し、休憩は行っているが夜間の安眠を考慮し、日中はその方に合った方法で支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤一覧があり、全職員が一目で理解できる内容になっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人、ご家族からの情報又日々の関わりから、その方なりの楽しみや役割を持って頂けるよう支援している。お手伝いの後は必ず感謝の言葉を忘れないようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節を感じられる場所や、その日のご利用者の希望に応じて、その都度支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を持したり使えるように支援している	使用できる方は、ご家族の了解を得て、ご本人の想いのままに支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご希望があればその都度対応しており、ご本人の安心に繋げている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者の好みや傾向をスタッフが良く理解しており、周りの環境を先に不快な状態を作らないように配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	休憩用のソファーや机、イスを配置しており、一人ひとり想いのままに生活が行える空間を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者の馴染みの写真や家具、仏壇などが配置してあるなど、居心地よく過ごせる環境が維持できるよう支援を行っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設全体がバリアフリーで安全に配慮しているため、ご入居者が自由に行き来できる環境である。又、名札や目印が各所に表記してあり、混乱を招かないように努めている。		

V アウトカム項目

				1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
				3 利用者の1/3くらいの
				4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		<input type="radio"/>	1 毎日ある
				2 数日に1回程度ある
				3 たまにある
				4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
				2 利用者の2/3くらいが
				3 利用者の1/3くらいが
				4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
				2 利用者の2/3くらいが
				3 利用者の1/3くらいが
				4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目: 28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目: 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1 ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3 たまに <input type="radio"/> 4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1 大いに増えている <input type="radio"/> 2 少しづつ増えている <input type="radio"/> 3 あまり増えていない <input type="radio"/> 4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4 ほとんどいない